



2018 電動模型航空機世界選手権開催概要

開催地 : 北海道滝川市たきかわスカイパーク

開催日 : 2018年7月19日～27日

主催 : 2018 電動模型航空機世界選手権組織委員会

運営 : 日本模型航空連盟

協力 : 滝川市
(公社) 滝川スカイスポーツ振興協会
(公社) 北海道スカイスポーツ協会
北海道模型連盟

開催種目 : FAI F5B (電動グライダーマルチタスク競技)
FAI F5D (電動パイロンレーシング競技)

競技参加国 : F5B 14～16カ国 選手42～48名 監督、助手他 約20名
F5D 9～12カ国 選手27～36名 監督、助手他 約15名

競技参加者総数 : 100～120名

運営役員数 : 30～40名 その他選手、役員家族、友人 30～50名 総勢 160～200名

宿泊施設 : Hotel miura kaen
ホテル スエヒロ
滝川ふれあいの里



大会スケジュール

日付	時間	内容	場所
7月19日(木)	8:30~18:00	選手到着 滝川カップ受付 自由練習飛行	たきかわスカイパーク
7月20日(金)	9:00~18:00	滝川カップ F5B R1,2 F5D R1-4	たきかわスカイパーク
7月21日(土)	9:00~18:00	滝川カップ F5B R3,4 F5D R5-8 滝川カップ 表彰式 世界選手権開会式	たきかわスカイパーク 会場未定
7月22日(日)	9:00~18:00	公式練習日 世界選手権選手受付・機体審査 チームマネージャー会議	たきかわスカイパーク
7月23日(月)	9:00~18:00	世界選手権 初日 F5B R1,2 F5D R1-4	たきかわスカイパーク
7月24日(火)	9:00~18:00	世界選手権 二日目 F5B R3,4 F5D R5-8	たきかわスカイパーク
7月25日(水)	9:00~18:00	世界選手権 三日目 F5B R5,6 F5D R9-12	たきかわスカイパーク
7月26日(木)	9:00~18:00	世界選手権 四日目 F5B R7,8 F5D R13-16	たきかわスカイパーク
7月27日(金)	9:00~18:00 17:30~19:30	予備日 表彰式、バンケット	たきかわスカイパーク 会場未定
7月28日(土)	9:00~18:00	解散・帰国日	
7月29日(日)		スカイスポーツイベント開催予定	たきかわスカイパーク

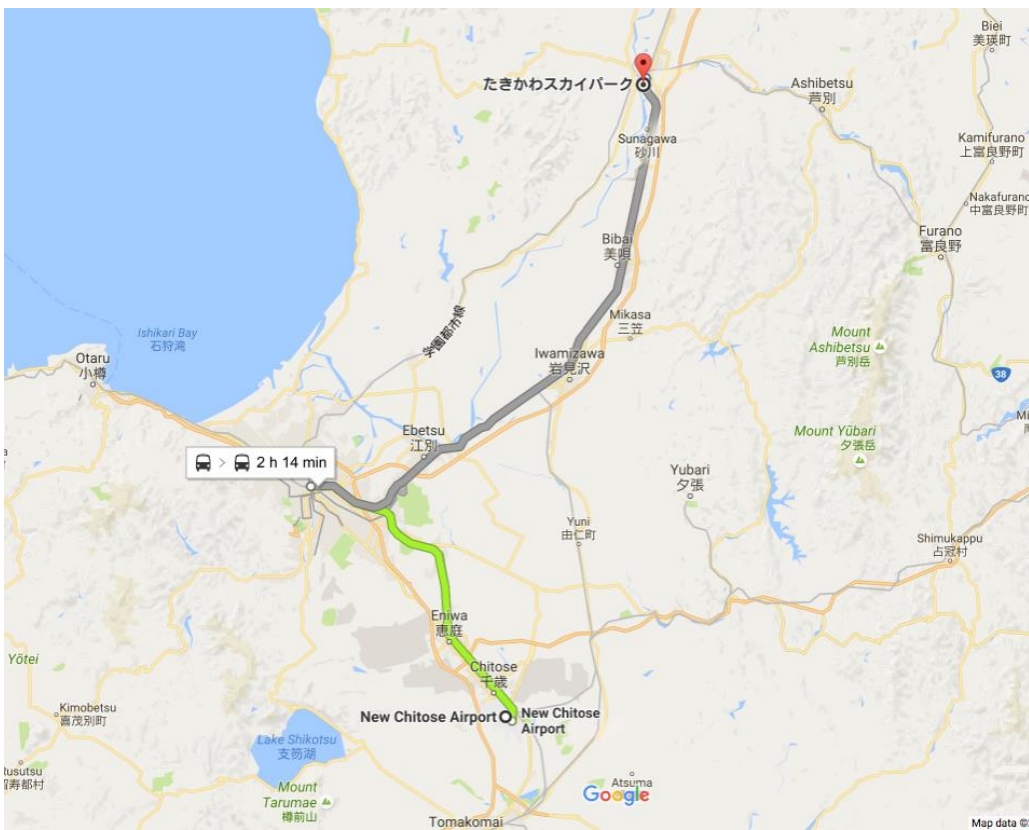
2018 電動模型航空機世界選手権組織委員会

会長	野村 吉三郎	(一財) 日本航空協会会長
副会長	萩尾 裕康	(一財) 日本航空協会副会長
	安田 邦男	日本模型航空連盟会長
委員	佐藤 信之	(一財) 日本航空協会専務理事
	岸 周豊	(一財) 日本航空協会常務理事
	廣瀬 春信	日本模型航空連盟理事長
	増田 勉	(一財) 日本ラジコン電波安全協会理事長 日本科学模型安全委員会会長
	鈴木 明久	日本ラジコン工業会会長
	松原 国臣	北海道模型連盟会長
監事	神林 喜彦	(一財) 日本ラジコン電波安全協会専務理事
	酒井 堯之	日本模型航空連盟監事
事務局長	山科 達雄	日本模型航空連盟事務局長

競技委員会

委員長	廣瀬 春信	日本模型航空連盟理事長
副委員長	上山 憲一	日本模型航空連盟 RC 電動委員会委員長
委員	松崎 真也	(一財) 日本航空協会航空スポーツ室専任課長
	山科 達雄	日本模型航空連盟事務局長
事務局長	上山 憲一	日本模型航空連盟 RC 電動委員会委員長

開催地：北海道滝川市滝川スカイパーク

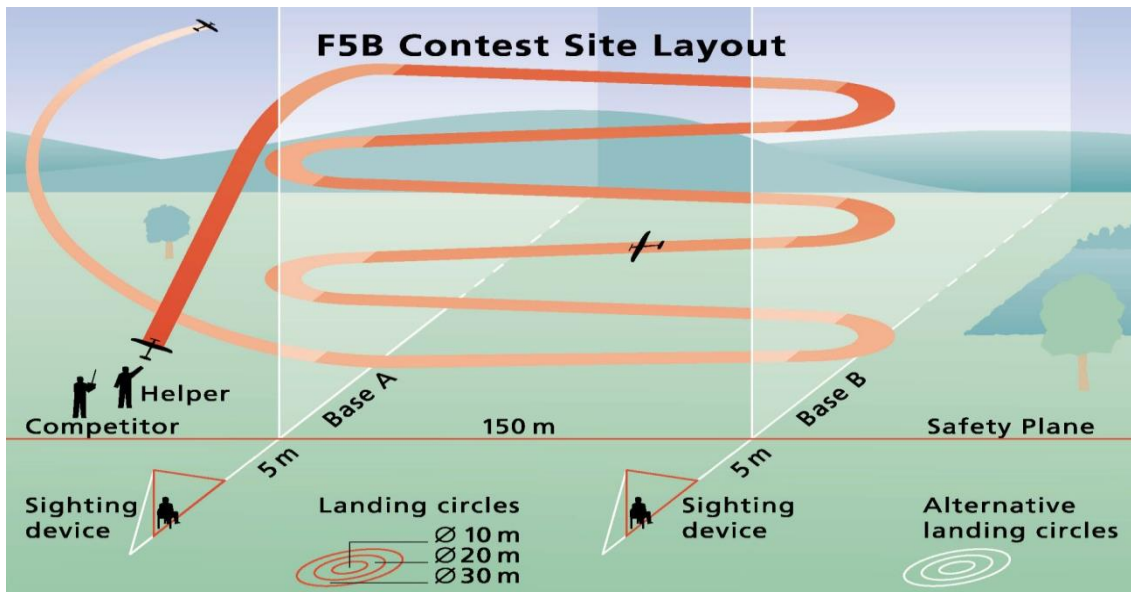


F5B 規定 競技説明

電動ラジコングライダーによるマルチタスク競技。

ラジコン飛行機の F1 と呼ばれるハイテク最先端飛行機による高速性能、滞空性能、定点着陸精度を競う競技。

上昇はモーターでプロペラを回しコース進入直前に切りコース内ではグライダーとして滑空する。200 秒間で何回 150m のコースを行き来出来るかを競う。200 秒後から 10 分間滞空タスクに入る。その間上昇気流をうまく見つけ高度を失わないように滞空しなければならない。低くなってモーターを使った場合はモーター1 秒につき 3 点ペナルティ。200 秒の滞空タスクの最後に定点着陸タスクがありサークルの中心に時間ぴったりに着陸すればボーナス点が与えられる。



F5D 規定 競技説明

電動飛行機周回レース競技

競技は1周400mの3点パイロンコースを10周するタイムで競う。

3機までの同時飛行を行う。機体はGFK/CFKのコンポジット製の専用機、バッテリーはリチウムポリマーバッテリー5セル以内、1回のフライトに使えるエネルギー量が決められている。速度は時速300km以上、約60秒間でワンラウンドの競技が終了する。世界選手権では16ラウンドの合計点で競う。

正確なコース取りで最短距離を飛ばすフライトテクニックとゴールと同時に全エネルギーを使いきるエネルギーマネジメントが求められる。

